

馬とのふれあいで心を癒して

NPOホース・フレンズのセラピーが好評

ひきこもりなどをテーマに4月から講座

馬とのふれあいで、子どもたちの心と体を癒す活動をしているNPO法人ホース・フレンズ事務局が、4月から「不登校・ひきこもり」について考える連続講座を開催します。

ホース・フレンズは、2年前にラポールひらかた（新町2）近くにホースセラピー枚方牧場をオープン。年間約9400人の市民らが訪れ、馬とのふれあいを楽しんでいます。

活動の一つである不登校やひきこもりの子どもたちとのホースセラピーを行ううちに、「子どもたちを支える周りの大人たちが一緒に考え、理解を深めていくことが子どもたちの笑顔につながっていくと考えました」とホース・フレンズ枚方セラピー牧場長の笠木洋和さんは話します。

そうした中、同NPOで初めての取り組みとして連続講座を開催。心の相談室やフリースクールなどでカウンセリングを行いながら、不登校・引きこもりなどについての著書を多数書いている臨床心理士の高橋良臣さんが主体になり、子どもたちとの関わりの中で実際に体験し、得たことなどをわかりやすく話します。



牧場では、子どもたちが乗馬や馬とのふれあいを楽しんでいます。

不登校・ひきこもりをみんなで考える連続講座

講座は4月11日から来年3月まで、毎月第2土曜午前10時30分～正午にメセナひらかた会館(全12回)。参加費各回1500円(テキスト代含む)。詳細はホームページ<http://www.horse-friends.org>参照。事前に電話(☎841・1301)で申し込みを(各月第1土曜まで。以降は問い合わせを)。各回先着100人。